

# 最近のインド情勢と日インド関係

インド概要	.....	1
インド政治・経済情勢	.....	2
最近のインド外交	.....	3
日インド関係（1）	.....	4
日インド関係（2）	.....	5

# インド：台頭するグローバル・パワー

## ●急速な経済成長

...高い経済成長率、世界第5位の経済規模

## ●国際社会での発言力

...いわゆるグローバル・サウスの中心国、G20、日米豪印、BRICS等のメンバー

## ●巨大な人口・市場

...世界最大の人口、巨大な中間所得層

## ●地政学的な重要性

...シーレーン上、ユーラシア大陸の中央

## ●確立された民主主義、言論の自由

...安定した内政運営、独立以来軍事クーデターなし

## ●世界規模のインド人ネットワーク

...在外インド人(印僑)の存在

### \* GDP成長率： 9.2% (2023年：インド政府発表)

- ・中国：3.0% (2022年：世銀資料)
- ・17年：6.8%, 18年：6.5%, 19年：3.9%, 20年：-5.8%, 21年：9.7%, 22年7.0% (2023年：世銀資料)
- (注) 2050年にはGDP世界第2位に成長するという予測あり(OECD, 2023年)。

### \* 名目GDP： 約3兆5,499億ドル(世界第5位/2023年：世銀資料)

- ・第4位：日本(4兆2,129億ドル)、第6位：英国(3兆3,400億ドル)
- (注)・第3位：ドイツ(4兆4,456億ドル)
- ・ASEAN(3兆7,816億ドル)
- (注) 2025年には日本を抜き世界第4位(約4兆3,103億ドル)に成長する見通し。(IMF予測, 2024年)

### \* 一人当たりGDP： 2,485ドル(2023年：世銀資料)

- (注) 中国：12,614ドル、日本：33,834ドル

### \* 人口： 14億2,863万人(2023年：世銀資料(世界第1位))

- ・中国：14億1,071万人
- ・ASEAN(約6億8千万人)の約2倍

### \* 面積： 328.7万km<sup>2</sup>(世界第7位)

- ・ASEANの約73% 中国の約34% 日本の約9倍
- (注) EU: 423.35km<sup>2</sup>

### \* 在外インド人(印僑)： 約1,500万~2,000万人(2世、3世を含めると3,000万人以上)

- ・華僑(香港、台湾を除く)：約2,000万~3,000万人

### \* 兵力： 148万人(2023年：ミリタリー・バランス2024)

- ・中国：204万人 ・パキスタン：66万人

### \* 国防予算： 736億ドル(2023年：ミリタリー・バランス2024)

- ・中国：2,195億ドル ・パキスタン：111億ドル

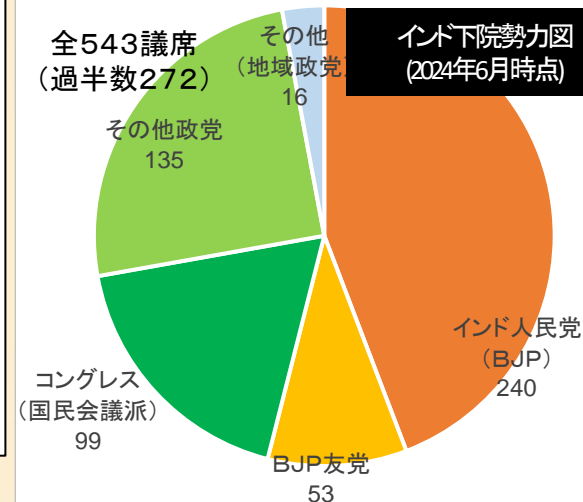


## ナレンドラ・モディ政権 (BJP政権)

- 下院総選挙は5年に1回。首相の任期は5年。
- 2014年5月モディ首相率いるインド人民党 (BJP) は282議席を獲得し第1党に。2019年の下院総選挙で前回を上回る303議席を獲得し大勝。
- 2024年下院総選挙では、インド人民党 (BJP) は、240議席の獲得に止まり単独過半数を失うものの、与党連合として293議席を獲得。モディ首相が3期連続で首相に就任。

### <モディ政権の今後の重要課題>

- ・持続的な経済成長、格差対策、失業者対策
- ・「メイク・イン・インド」、「メイク・フォー・ワールド」の実現
- ・宗教、地域、カーストの対立を越えた協調的社会的実現
- ・外交政策 (日米豪印、伝統的な露との関係、グローバル・サウスの主要国として)



国民民主主義連合 (NDA)	293
インド人民党 (BJP)	240
BJP友党	53
インド全国発展包摂連合 (I.N.D.I.A)	234
कांग्रेस (国民会議派)	99
その他政党	135
その他 (地域政党)	16



モディ首相



シャー内相



ジャイシャンカル外相



シン国防相



ゴヤル商工相



シタラマン財相

## 最近のインド経済

- モディ首相は、メイク・イン・インド、デジタル・インド、クリーン・インド等の様々な経済イニシアティブを推進。投資振興策として、通信機器や自動車、応用化学電池等、主要15分野を特定して生産連動型優遇策 (PLI) を実施しているほか、半導体産業への包括的な補助金制度も導入。また、国家マスタープラン「ガティ・シャクティ」を発表し、社会基盤整備にも注力。
- 世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた2020年を除き、インド経済は堅調に成長。2020年に-5.8%と大きく減速したGDP成長率は2021年に9.7%へとプラスに転じ、2022年は7.0%、2023年は9.2%と堅調に推移。

- 戦略的自律性の確保を重視。特定国との同盟関係ではなく、主要国との全方位外交を展開。
- 「インド太平洋」は自由で開かれた包摂的な地域であり、法の支配が重要との立場発信。
- 日米豪印を「自由で開かれたインド太平洋」を推進するものとして重視。

## ロシア

- ・旧ソ連時代からの伝統的關係。
- ・2000年以降、年次首脳会談を実施(これまで21回)
- ・ロシア産武器輸入、原子力、エネルギー分野等で協力。

### 【要人往来】

- ・2018年5月(非公式)、モディ首相訪露
- ・2018年10月、プーチン大統領訪印
- ・2019年9月、モディ首相訪露(東方経済フォーラム)
- ・2021年12月、プーチン大統領、ラブロフ外相、ショイグ国防相訪印(首脳会談、露と初の「2+2」)
- ・2022年4月、ラブロフ外相訪印
- ・2022年11月、ジャイシャンカル外相訪露
- ・2023年3月、ラブロフ外相訪印(G20外相会合)
- ・2023年5月、ラブロフ外相訪印(上海協力機構(SCO)外相会合)
- ・2023年9月、ラブロフ外相訪印(G20首脳会合)
- ・2023年12月、ジャイシャンカル外相訪露
- ・2024年7月、モディ首相訪露
- ・2024年10月、モディ首相訪露(BRICS首脳会合)



## 米国

- ・安全保障、経済面を中心に良好な関係。
- 安保:米国産防衛装備品輸入。経済:印最大の貿易相手国

### 【要人往来】

- ・2019年9月、モディ首相訪米(国連総会)
- ・2020年2月、トランプ大統領訪印
- ・2021年9月、モディ首相訪米(日米豪印首脳会合、国連総会)
- ・2022年4月、ジャイシャンカル外相、シン国防相訪米(第4回「2+2」)米印首脳テレビ会談
- ・2022年9月、ジャイシャンカル外相訪米(国連総会)
- ・2022年12月、ジャイシャンカル外相訪米(安保理議長月)
- ・2023年3月、プリンケン国務長官訪印(G20・日米豪印外相会合)
- ・2023年6月、モディ首相国賓として訪米
- ・2023年9月、バイデン大統領訪印(G20首脳会合)
- ・2023年9月、ジャイシャンカル外相訪米(国連総会)
- ・2023年11月、プリンケン国務長官、オースティン国防長官訪印(第5回「2+2」)
- ・2024年9月、モディ首相訪米(日米豪印首脳会談、国連未来サミット)
- ・2024年12月、ジャイシャンカル外相訪米
- ・2025年1月、ジャイシャンカル外相訪米(大統領就任式、日米豪印外相会合)
- ・2025年2月、モディ首相訪米



## 中国

- ・国境紛争(1962年)、冷戦構造等により長期間関係停滞。(国境紛争は現在も継続。2020年6月には国境にて両軍が衝突、45年ぶりに死傷者が発生し、関係悪化。24年10月約5年ぶりに首脳会談実施(BRICS首脳会合時)。)
- ・2000年以降、経済関係拡大。現在に至るまで中国は印の最大の輸入相手国の一つ。

### 【要人往来】

- ・2016年10月、習近平国家主席訪印
- ・2018年4月(非公式)、6月、モディ首相訪中
- ・2019年10月(非公式)、習近平国家主席訪印
- ・2023年3月、秦剛外相訪印(G20外相会合)
- ・2023年5月、秦剛外相訪印(上海協力機構(SCO)外相会合)
- ・2023年9月、李強首相訪印(G20首脳会合)

## オーストラリア

・「自由で開かれたインド太平洋(FOIP)」構想に共鳴する形で、2020年6月の印豪首脳テレビ会談を通じて緊密化。両国関係を「包括的戦略パートナーシップ」へ格上げ。

### 【要人往来】

- ・2014年11月、モディ首相訪豪(G20)
- ・2017年4月、ターンブル首相訪印
- ・2020年1月、ペイン外相訪印
- ・2020年6月、印豪首脳テレビ会談
- ・2021年9月、ペイン外相、ダットン国防相訪印(豪と初の「2+2」)
- ・2022年3月、印豪首脳テレビ会議
- ・2022年10月、ジャイシャンカル外相訪豪
- ・2023年3月、ウォン外相訪印(G20・日米豪印外相会合)
- ・2023年3月、アルバニージー首相訪印
- ・2023年5月、モディ首相訪豪
- ・2023年9月、アルバニージー訪印(G20首脳会合)
- ・2023年10月、ウォン外相訪印
- ・2023年11月、マールズ国防相、ウォン外相訪印(第2回「2+2」)
- ・2024年2月、ジャイシャンカル外相訪豪
- ・2024年11月、ジャイシャンカル外相訪豪

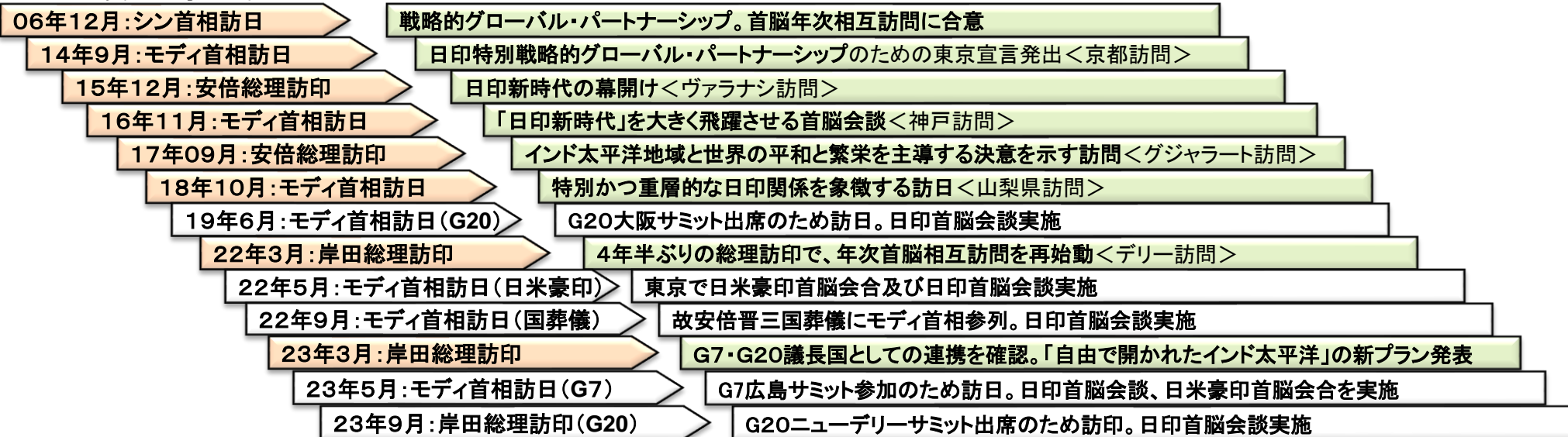


# 日インド関係(1)



## 最近の首脳往来

- 2014年の「日印特別戦略的グローバル・パートナーシップ」への格上げ、首脳年次相互訪問の実施等を通じ、日印関係は加速度的に強化。



## 政治・安全保障

### ●政治交流・対話

- 年次首脳相互訪問、外相間戦略対話、外務次官級対話等を実施。
- 日米豪印首脳会合(外相会合、局長級会合も実施)の実施。

### ●安全保障・防衛

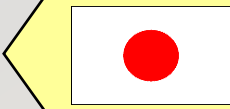
- 2015年12月、防衛装備品・技術移転協定、情報保護協定の署名(2016年3月発効)。
- 2019年11月、第1回外務・防衛閣僚会合(「2+2」)の開催(デリー)。
- 2020年9月、ACSA(物品役務相互提供協定)の署名(2021年7月発効)。
- 2022年9月、第2回「2+2」の開催(東京)。
- 2023年9月、初の日印統合幕僚協議の開催(デリー)。
- 2023年中には、初の日印戦闘機共同訓練を含め、1年間に陸海空3軍種全てで共同訓練を実施。
- 2024年8月、第3回「2+2」の開催(デリー)。
- その他軍縮・不拡散協議、サイバー協議、宇宙対話等の実施



日印首脳会談(24年10月、於:ピエンチャン)



日印外相会談(25年1月、於:ワシントンD.C.)



# 日インド関係(2)

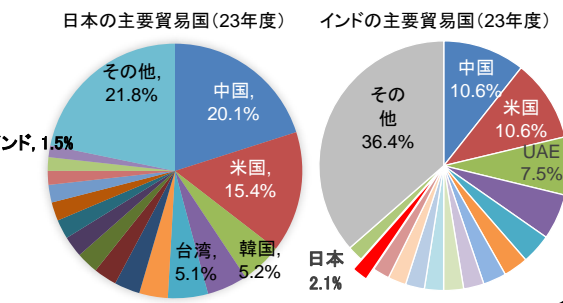
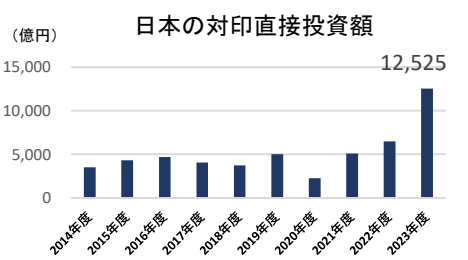
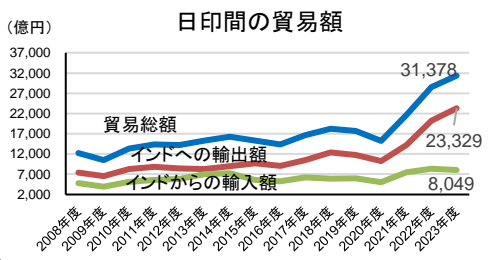


## 経済・経済協力

- 近年、インドは我が国最大規模の円借款受取国。高速鉄道、デリーメトロ等を支援(2023年度は約8,094億円を供与)。
- 連結性協力として、第三国や印北東部での協力を具体化。
- 2011年8月に日インド包括的経済連携協定(CEPA)発効。  
2023年度の貿易総額は約3兆1,378億円(日から印:約2兆3,329億円、印から日:約8,049億円)。(出典:財務省貿易統計)
- 2022年3月の岸田総理訪印時に、今後5年間における対印官民投融资5兆円の目標を表明。
- 2023年度の日本の対インド直接投資実行額は約12,525億円。(出典:財務省対外直接投資統計)
- インドへの進出日系企業数は近年横ばいで推移(2022年10月時点で1,400社、4,901拠点)。
- 新たな分野を含め2国間の協力を積極的に推進。
  - ・デジタル・パートナーシップ(スタートアップ、IT人材交流)やICT分野における協力覚書
  - ・日印産業競争力パートナーシップ、クリーン・エネルギー・パートナーシップ等



2016年モディ首相訪日時の新幹線乗車(東京～新神戸)



## 人的交流・学術交流

- 日印間の人の交流は限定的であり、活性化が課題。
- 2018年、日本語教師育成センター設立。
- インド工科大学ハイデラバード校、インド情報技術大学ジャバルプル校への支援継続。
- 2025年1月の日印外相会談時、2025年が日印科学技術協力協定の締結から40年となることを踏まえ、両外相間で2025年度を「日印科学技術交流年」とし、両国間の科学技術協力を進めていくことで一致。

	日印間	日中間	割合
日本人訪問者数(19年:JNTO(注1))	約24万人	約268万人	1/11
訪日外客数(23年:JNTO(注1))	約16.6万人	約242.5万人	1/14
在日留学生数(23年:法務省)	1,940人	163,895人	1/84
在留邦人数(24年:外務省)	8,102人	97,538人	1/12
在留外国人数(24年:法務省)	53,974人	873,286人	1/16
日本語学習者数(21年度:JF(注2))	36,015人	1,057,318人	1/29
地方自治体間交流(23年:CLAIR(注3))	6組	382組	1/63
国際航空定期便数(23年:国交省)	24便/週	596.5便/週	1/24

(注1)日本政府観光局(Japan National Tourism Organization)、(注2)国際交流基金(JAPAN FOUNDATION)、(注3)自治体国際化協会(Council of Local Authorities for International Relations)